

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	扁平上皮癌 Pembrolizumab+nab-PTX+CBDCA療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2019年1月9日	
疾患名	扁平上皮癌		☒ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☐ 他施設自主研究 ☐ 市販後臨床研究 ☐ 治験	☒ 進行・再発化学療法 ☐ 術後化学療法 ☐ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	1クール期間	21日	
診療科名	呼吸器内科				実施回数	4回	
登録医師名	岡田 俊明						

※ルートの接続は下部参照

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート※	投与時間	投与日									注意コメント
							day1	—	—	day8	—	—	day15	—	—	
1	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	●	—	—	●	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	15min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	
	デキサート注射液 6.6mg	1.5	管													
	パロノセトロン静注用0.75mg	1	管													
3	生理食塩液	50	mL	点滴静注	側管		●	—	—	—	—	—	—	—	—	キイトルーダ前後ルート洗浄用
4	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	30min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	最終濃度：1～10mg/mL以上 インラインフィルターを使用すること。 キイトルーダ投与前後生食でフラッシュ
	キイトルーダ点滴静注	200	mg													
5	グラニセトロン点滴静注液3mgバック	1	袋	点滴静注	側管	15min	—	—	—	●	—	—	●	—	—	投与終了後、生理食塩液でフラッシュすること。
	デキサート注射液 6.6mg	1	瓶													
6	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管		●	—	—	—	—	—	—	—	—	アブラキサン前後ルート洗浄用
7	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	30min	●	—	—	●	—	—	●	—	—	各バイアル生食20mLで溶解し、使用量のみ空容器に注入 ※イット使用（生食のみ配合可能） ※投与終了後、生理食塩液でフラッシュすること。 ※インラインフィルターを使用しないこと。 ※特定生物由来製品であるため、ロット番号入力をお忘れしないこと。 ※特定生物由来製品であるため、同意書が必要 ※アブラキサン投与前後生食でフラッシュ
	アブラキサン点滴静注用	100	mg/m2													
8	生理食塩液	250	mL	点滴静注	側管	60min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	
	カルボプラチン点滴静注液	6	AUC													
9																

備考欄
 ※4コース終了後はPembrolizumab療法へ移行する
 ※キイトルーダはフィルターを使用する。アブラキサンはフィルターを使用しない。
 状況によりイメンドの併用を考慮

文献
 国際共同第Ⅲ相試験 KEYNOTE-407試験

減量・中止基準

投与ルート(看護用)
 メイン:フィルター付きルート使用
 側管①:フィルターの上に接続。アブラキサン以外投与
 側管②:フィルターの下に接続。アブラキサン投与
 ※側管ルートの付け替え禁止